



けいし



<教育目標> 上妻を愛し、夢や希望に向かって、
たくましく生きる子どもの育成

令和元年7月18日

昨日とそっくりな一日をつくる！！ ～ 生活の起点づくり ～

今月始め（7月1日～3日）に行われました『地区懇談会』にはたくさんの方にご参加いただきありがとうございました。『地区懇談会』では基本的な生活習慣をどのようにして身に付けるかがテーマでしたが、それぞれの家庭で工夫されている取組を聞くことができ、大変勉強になりました。

さて、もうすぐ夏休みが始まります。
子どもたちは、夏休みにやりたいこと、遊びたいことで胸が膨らんでいることでしょう。
夏の思い出がたくさんできることを願っています。

その夏休みに気になることが、生活習慣の乱れです。
こんな会話がありました。



「先生、一年生を担当するにあたって、最も気をつけなくちゃならないことって、ひと言でいうと何ですか？」

「そりゃ、学校生活に慣れさせることだろ。」

「……そうか。じゃあ、学校生活に慣れさせるのに、担任が一番気をつけなければならぬことは何ですか？」

一呼吸置いて、

「毎日を、昨日とそっくりな一日にしてやることだな。」

昨日とそっくりの一日を続けることが生活習慣につながります。その生活習慣を身に付けるのに大事なことが、**3つの起点**を作ることだといわれています。

3つの起点とは、**【起きる時間・寝る時間・勉強する時間】**の始めのことです。

つまり、朝起きる時間はいつも同じ。夜寝る時間もいつも同じ、そして、勉強する時間もいつも同じということです。

長い夏休みに規則正しい生活を続けることは難しいことです。もし生活習慣が乱れたら、**【起きる時間・寝る時間・勉強する時間】**をもう一度子どもと確認して、規則正しい生活習慣に戻してあげてください。

「Habit is second nature.」（習慣は第二の天性である）とも言います。

8・9月の主な行事

<8月>

27日（火）～29日（木） 朝の交通指導

29日（水）～30日（木） 夏休み作品展

<9月>

4日（水） 中学生による読み聞かせ
合同水泳記録会（三河小）

10日（火） 避難訓練（地震）

11日（水） プール納会

16日（月） PTA ソフトミニバレーボール大会

20日（金） 授業参観・学級懇談会

25日（水）～26日（木）

給食員さんとのふれあい給食

※ 個人懇談会

7月23日（火）～26日（金）

夏休み前に『上妻検定』を行いました。

7月8日が「漢字」の検定、9日が「算数」の検定、11日が「ローマ字・英語」の検定でした。

検定の内容は、4月から7月まで学習したものです。
子ども達は真剣に、問題に取り組んでいました。

夏休み前の上妻検定！！



自らの命を守る行動～着衣水泳～

先日、熊本県、鹿児島県に豪雨が続いた時、気象庁が「『自ら命を守る行動』をとってください。」と伝えていました。

7月8日に行いました『救急救命講習会』は、「子どもの命を守る行動」を行うためのノウハウを学ぶ機会でした。

30代前半の頃、勤務していた学校で『救急救命講習会』が行われました。

その数日後、低学年の女子児童が、自宅の泉水に落ちて溺れてしまいました。子どもの悲鳴を聞いたお母さんは、すぐに泉水から子どもを助け上げ、数日前に習った「心肺蘇生法」を行って無事に命を救ったということがありました。



そして、7月16日は「着衣水泳」を行いました。

普段着ている衣服のまま、川や海に落ちたときに、水の中で泳ぐことを「着衣水泳」と言います。

通常、衣服を着ている状態で水に入ると衣服が水を吸って重くなると思われがちですが、それは水中から出る際と陸上に上がった後であって、着衣状態の方が浮力があって水に浮きやすいともいわれています。



指導者の月足先生



水難事故対応策の一つとして行われる際、「UITEMATE」（浮いて待て）が合言葉。そして泳ぎ方が「背浮き」です。子ども達も、衣服を着たまま、ペットボトルやレジ袋を使って、浮く練習も行いました。これらは、まさしく、「自らの命を守る行動」です。

皆さんの夏の音というのは、どんな音ですか？

夏になると聞こえてくるのはセミの声です。

先日、2年生の子がセミの抜け殻を持ってきて、「この中にせみが入っていたんですよ。」と教えてくれました。「この中に入っていたセミはどんな声で鳴くのかな？」「う～ん？」

夏から秋へと移行行く季節の変化を、セミの鳴き声で感じ取る。そんな夏休みもいいなと思いました。

